

2020年度予算書の概要

学校法人 神戸薬科大学

2020年度予算書は、2019年12月18日に開催した評議員会及び理事会において承認された予算大綱を基に、その内容の見直しを行うとともに、予算大綱作成時以降に採り上げた新規予算項目を織込み作成した。主な予算書である資金収支予算書及び事業活動収支予算書の概要については以下のとおり。

1. 資金収支予算書

(1) 資金収入

学部学生数減による学生生徒等納付金収入の減額、如修塾の寮生数減による付随事業・収益事業収入の減額、退職金財団からの退職資金交付金の減少による雑収入の減額などにより、単年度の収入の合計は前年度比51,300千円減の3,753,300千円を見込む。

【科目別内容】

① 学生生徒等納付金収入

学部納付金は学生数を前年度比20名減の1,675名（新生270名、2年次～6年次生1,405名）と想定し2,985,000千円と見込み、入学金142,700千円、大学院納付金9,900千円及びその他と合わせて前年度比43,600千円減の3,146,700千円を計上した。

② 手数料収入

学部入学検定料は入学志願者数を前年度と同数の2,400名と想定し78,000千円を見込み、その他の手数料と合わせて前年度比100千円減の92,700千円を計上した。

③ 寄付金収入

研究奨学寄付11,000千円、同窓会からの寄付金2,000千円その他、2020年4月に開始予定の本学創立90周年記念事業における募金活動による寄付金10,000千円を見込み、前年度比5,000千円増の25,000千円を計上した。

④ 補助金収入

経常費国庫補助金は特別補助を含め250,000千円及びその他の補助金と合わせて前年度比100千円増の250,200千円を計上した。

⑤ 付随事業・収益事業収入

補助活動収入は如修塾の寮生数の減少により前年度比4,500千円減の20,300千円を見込み、受託事業収入5,000千円と合わせて前年度比4,500千円減の25,300千円を計上した。

⑥ 受取利息・配当金収入

運用資金の期中平残予想120億円を、利回り平均0.34%で運用するとして、前年度比700千円減の40,900千円を計上した。

⑦ 雑収入

当年度は定年退職者がいないため退職金財団からの退職資金交付金がなく、科研費間接経費18,000千円、企業との共同研究経費5,000千円他で前年度比65,000千円減の30,000千円を計上した。

⑧ その他の収入

前期末未収入金収入104,800千円、第2号基本金引当特定資産（大型機器充実資金）27,000千円取崩他で前年度11,400千円減の142,600千円を計上した。

(2) 資金支出

2・3号館建替えに伴う各種工事費の計上により施設関係支出が増額となるが、定年退職者がいないため退職金支出がなく人件費支出が減額となることや前年度計上した大口支出（1号館アスベスト除去費用）がなく教育研究経費支出が減額になるため、単年度の支出の合計は前年度比17,700千円減の3,924,700千円を見込む。

【科目別内容】

① 人件費支出

教員数85名、職員数45名、その他教育研究支援職員16名及び非常勤教員とアルバイト職員の給与等を見込むが、当年度は定年退職者がいないため退職金支出がなく、前年度比73,700千円減の1,628,200千円を計上した。

②教育研究経費

長期実務実習・共用試験関係費 239,200 千円、電子ジャーナル・データベース利用料 78,300 千円、学部・大学院奨学金 40,300 千円、学長裁量経費 25,000 千円、国家試験対策関連費 20,000 千円などの經常経費に加え、学修成果の可視化のためのシステム導入費用 11,550 千円などの新規案件があるが、前年度に計上した 1 号館アスベスト除去費用 100,000 千円がなくなるため前年度比 106,700 千円減の 1,169,500 千円を計上した。

③管理経費支出

入試業務システム更新 12,200 千円、Web 出願システム導入 10,500 千円、入試宣伝広告・資料請求関係費 8,100 千円、テレビコマーシャル製作・放映費 6,000 千円他で 293,000 千円を計上した。

④施設関係支出

2・3 号館建替えに伴う各種工事費 253,000 千円（薬理学研究室移転関係費用 112,000 千円、学生支援センター移転関係費用 79,000 千円、新 2 号館他新築設計着手金 18,000 千円、2・3・9 号館解体工事着手金 44,000 千円）、如修塾カビ対策費用 19,800 千円、危険物倉庫移築 14,000 千円他で 296,200 千円を計上した。

⑤設備関係支出

4 号館熱源改修 49,000 千円、核磁気共鳴装置（400MHz）設置 27,000 千円、動物実験施設高圧蒸気滅菌装置更新 21,700 千円、事務用パソコン更新 21,200 千円、ウイルスチェックサーバー更新 10,500 千円、4 号館プロジェクター更新 10,000 千円、教務課印刷機更新 5,600 千円、関係委員会選定の研究用機器 29,400 千円や実習用機器 6,000 千円、図書費 8,200 千円他で 227,500 千円を計上した。

⑥資産運用支出

第 2 号基本金引当特定資産（教育環境整備資金）300,000 千円、研究充実準備積立金 5,000 千円の各積立により 305,000 千円を計上した。

(3)繰越支払資金

単年度の収入 3,753,300 千円から単年度の支出の合計 3,924,700 千円を差し引いた収支は 171,400 千円の支出超過となることから、翌年度繰越支払資金は期首から 171,400 千円減の 998,100 千円となるが、前受金収入 387,100 千円は維持できる見込み。

2. 事業活動収支予算書

(1)教育活動収支

収入については、学生生徒等納付金をはじめ、付随事業・収益事業収入、雑収入の減額により、全体で前年度比 108,100 千円の減額を見込む。一方、支出については、人件費及び教育研究経費の減額により、全体で前年度比 199,100 千円の減額を見込み、収支は 79,500 千円の支出超過（前年度比 91,000 千円増）を見込む。

(2)教育活動外収支・特別収支

教育活動外収支は受取利息・配当金の収入のみの計上であり、40,900 千円の収入超過（前年度比 700 千円減）を見込む。この結果、教育活動収支と教育活動外収支の合計である經常収支は 38,600 千円の支出超過（前年度比 90,300 千円増）を見込む。特別収支は計上なし。

(3)基本金組入

施設関係支出 283,000 千円、設備関係支出 227,500 千円、資産運用支出のうち第 2 号基本金引当特定資産 300,000 千円の組入を行う一方、耐用年数が経過した機器・備品の除却に伴う取崩し 184,900 千円、第 2 号基本金引当特定資産（大型機器充実資金）27,000 千円取崩を行うため、差し引き 598,600 千円（前年度比 128,300 千円増）の基本金組入を見込む。

(4)繰越収支

經常収支に特別収支及び予備費 20,000 千円を加えた基本金組入前当年度収支は 58,600 千円の支出超過（前年度比 90,300 千円増）を見込む。これに基本金 598,600 千円を組入れした当年度収支は 657,200 千円の支出超過（前年度比 38,000 千円減）となり、さらに前年度繰越収支 125,500 千円の支出超過を加えた最終的な翌年度繰越収支は 782,700 千円の支出超過（前年度比 10,800 千円増）を見込むため、これまで以上に経費節減を進め、収支の改善に努めたい。